

# 令和6年度 中央研修会募集要項



公益財団法人 地域社会振興財団

<https://www.zcssz.or.jp/>



# 目 次

■ 公益財団法人 地域社会振興財団の概要	1
■ 中央研修会のご案内	3
1 第42回 診療放射線技師研修会	5
2 第42回 薬剤師研修会	7
3 第9回 栄養管理研修会	9
4 第49回 臨床検査技師研修会	11
5 第2回 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会	13
6 第22回 健康企画・評価研修会	15
7 第43回 保健活動研修会	17
8 第2回 看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会	19
9 第42回 健康学習研修会	21
10 第20回 口腔ケア研修会	23
11 第4回 災害保健研修会	25
12 第24回 リハビリテーション研修会	27
13 第47回 スタッフ育成・管理担当者研修会	29
14 第2回 チーム医療充実を目指したメディカルプロフェッショナル研修会	31
■ 申込要領等	33
■ 現地研修会のご案内	36

# 公益財団法人 地域社会振興財団の概要

## 設立の趣旨

地域社会振興財団は、へき地などの地域社会がかかえる保健・医療・福祉等の諸問題について基礎的・総合的な研究を行い、そこで生活する人々が生きがいをもって健やかに暮らすことが出来る地域社会づくりに貢献し、地方自治の基盤の充実に寄与することを目的として、昭和47年12月に「財団法人へき地振興財団」の名称で設立されました。

以来、経済社会の動向を見つめながら、高齢化対策に積極的に取り組んでいる地方公共団体を支援するため、長寿社会づくりソフト事業費交付金交付事業を創設し、これを機に名称を平成元年4月に「財団法人地域社会振興財団」と改め、その後公益財団法人制度改革に伴う公益法人への移行認定を受けて、平成25年4月から「公益財団法人地域社会振興財団」として新たにスタートしました。

また、令和4年4月より、これまで30年以上実施していた長寿社会づくりソフト事業費交付金を改め、「人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金」とし、新たに少子化対策や地域創生の施策を実施する地方公共団体に対し、さらなる地域社会の基盤強化を拡充するためのソフト事業を支援しています。

今後もより一層、設立時の趣旨を踏まえつつ、地域社会における保健・医療・福祉の分野でのさまざまなニーズに応えるべく事業の充実に向けて邁進します。

## 事業概要

栃木県から発行される「地域医療等振興自治宝くじ」通称「レインボーくじ」の収益金を財源として次の事業を行っています。

### ◆調査研究事業（公益目的事業1）

へき地など地域住民の疾病の特異性、病態生理とその原因等を明らかにし、それに対する有効な対策等を行うため「地域社会健康科学研究所」を設置し、環境医学研究部門、血液医学研究部門、保健科学研究部門、健康福祉計画研究部門、病態生理研究部門、情報システム研究部門の6研究部門及び実験医学センター並びにさいたま支所を置き、基礎的・総合的な調査研究を行うほか、同地域における少子高齢化の進展に対応した保健・医療・福祉に係る諸施設を支援するための事業です。

また、当研究所の調査・研究事業に必要な研究機器は、「難病及び希少難病に関する研究等」として、公益財団法人JK Aからの補助金（競輪公益資金）により整備され、使用されています。

なお、整備された研究機器について、当研究所内において有効的に活用され、それらの研究成果については、毎年度「地域社会健康科学研究所報告集」として冊子化し、各都道府県等に配付しています。

### ◆研修事業（公益目的事業2）

当財団では、自治医科大学と密接な連携のもとに各種研修会（中央研修会と現地研修会）を合わせて年間30回程度開催しています。

また、地域住民を対象とした保健・医療・福祉等に関する意識向上のための研修や、地域医療が抱える様々な問題とその解決策を医療従事者等と地域住民とともに考え討議するフォーラムやシンポジウムを開催しています。

#### <中央研修会>

当研修会は、地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々が、最新の医学知識と医療技術を習得することにより、地域住民が安心して生活することができることを目的に開催しています。

講師には、自治医科大学の教職員及びそれぞれの分野において活躍されている方々を招き、最新の医療情報の講義や技術の向上を図るための演習等を実施しています。

### <現地研修会>

当研修会は、地方公共団体等が推進する健やかな地域社会づくりに寄与することを目的に、地域住民の方々や地域社会において、保健・医療・福祉事業に携わる方々を対象として、保健・医療・福祉事業に関するテーマで、当該団体と当財団が共催の形を取り全国各地で開催しています。

### <健康福祉プランナー養成塾>

地域住民の社会福祉・介護サービスを構想し、運営するコミュニティ・リーダーの育成を目的に、健康福祉行政等の企画立案に携わる地方公共団体等の保健師、医師、事務職員等を対象に、保健・医療・福祉に関する専門知識の理解と、優れた企画立案能力を習得するため、職種横断的な研修会を開催しています。

### <地域医療を考える県民フォーラム>

深刻化する医師不足等の地域医療に関する現状及び課題について、行政、医療関係機関、住民等が認識を共有し、自らの地域のあり得べき地域医療について主体的かつ建設的に考えるフォーラムを開催することによって、開催県における地域医療の充実確保に寄与するとともに、地域が一体となって自らの地域医療について考える全国的なモデル事業としての役割を果たすことを趣旨・目的としています。

### <地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム>

地域医療の課題を解決するためには地域住民の理解・協力などの「住民の力」や住民の主体的活動が重要であること、住民と地方自治体行政との相互理解・協働が不可欠であることを共通の認識とするとともに、住民団体(住民グループ・NPO 法人等)同士が全国的に連携を取れるようなネットワークづくりを目的として開催しています。

## ◆ 交付金交付事業（公益目的事業3）

### <人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金交付事業>

地方公共団体等が行う「人口減少・少子高齢化の進展に対処するための施策及び東京圏の人口集中を是正し、地方で安心して、子どもを生み育て、暮らすことができる環境を確保するための施策」の実現に資する事業を支援するために交付金を交付しています。

### <整備拡充事業費交付金交付事業>

へき地等の地域医療の先駆的な役割を担っている自治医科大学の教育・研究に欠くことのできない施設設備や研究機器などの整備拡充を支援するため、交付金を交付しています。

令和6(2024)年度 地域医療等振興自治宝くじ(レインボーくじ)発売計画

回号	発売期間	発売目的
430	R6/7/8 ~ R6/8/6	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
431	R6/8/9 ~ R6/9/3	地域振興等のため設立された学校法人自治医科大学の整備に要する財源とするため
432	R6/9/4 ~ R6/9/24	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
433	R6/10/9 ~ R6/11/5	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
434	R6/11/6 ~ R6/12/3	地域振興等のため設立された学校法人自治医科大学の整備に要する財源とするため



宝くじ公式サイト



レインボーくじ1枚から社会貢献ができます！

# 中央研修会のご案内

当財団の研修事業のひとつである中央研修会は、地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々が、最新の医学知識と医療技術を習得することにより、地域住民の方々が安心して生活することができるような地域社会となることを願い、自治医科大学のご協力をいただき、昭和50年から実施しています。

## 令和6年度中央研修会一覧

研 修 会 名		研 修 期 間	申 込 期 間	テ ー マ
1	第42回 診療放射線技師研修会	6月6日 (木) ~ 6月8日 (土)	4月1日 (月) ~ 5月6日 (月)	放射線検査技術と読影の補助
2	第42回 薬剤師研修会	6月13日 (木) ~ 6月14日 (金)	4月1日 (月) ~ 5月13日 (月)	病院薬剤師のチーム医療への活動と関わり～
3	第9回 栄養管理研修会	6月21日 (金) ~ 6月22日 (土)	4月1日 (月) ~ 5月21日 (火)	最新のガイドラインを読み解理を学ぶ
4	第49回 臨床検査技師研修会	6月27日 (木) ~ 6月28日 (金)	4月1日 (月) ~ 5月27日 (月)	各診療科に関わる輸血療法に習得する。
5	第2回 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会	7月8日 (月)	4月1日 (月) ~ 6月8日 (土)	看護管理者が看護補助者の活や考え方を理解し、安全で効活用することができる
6	第22回 健康企画・評価研修会	8月1日 (木) ~ 8月2日 (金)	4月1日 (月) ~ 7月1日 (月)	住民が元気になる健康事業企
7	第43回 保健活動研修会	8月9日 (金) ~ 8月11日 (日)	4月1日 (月) ~ 7月9日 (火)	近年、保健活動に関するアウ 々な形で住民の健康増進につ 介入効果を科学的に検証（評 などについて「研究発表」と で公表できれば、全国で同様 係団体に基礎資料を提供する 本研修会では、保健活動の具 動内容の定量的評価および効 は学会発表・論文執筆にいた て学習する
8	第2回 看護師特定行為研修修了者 スキルアップ研修会	8月30日 (金)	4月1日 (月) ~ 7月30日 (火)	最適な特定行為実践のための 向上
9	第42回 健康学習研修会	9月5日 (木) ~ 9月6日 (金)	4月1日 (月) ~ 8月5日 (月)	健康教育から健康学習へ
10	第20回 口腔ケア研修会	10月4日 (金) ~ 10月5日 (土)	4月1日 (月) ~ 9月4日 (水)	口腔と密接に関係する全身疾 る全身疾患について
11	第4回 災害保健研修会	10月19日 (土) ~ 10月20日 (日)	4月1日 (月) ~ 9月19日 (木)	地域保健活動における災害へ の対応力を高めよう！
12	第24回 リハビリテーション研修会	10月24日 (木) ~ 10月25日 (金)	4月1日 (月) ~ 9月24日 (火)	脳卒中、外傷、循環器障害、 の急性期リハビリテーション
13	第47回 スタッフ育成・管理担当者 研修会	11月1日 (金) ~ 11月2日 (土)	4月1日 (月) ~ 10月1日 (火)	スタッフ育成のためのティー
14	第2回 チーム医療充実を目指したメディ カルプロフェッショナル研修会	11月8日 (金)	4月1日 (月) ~ 10月8日 (火)	メディカルプロフェッショナ め地域医療を充実させよう

※1 放射線技師学校卒業後10年程度までの診療放射線技師 ※2 医療機関の看護管理者(看護部長・看護師長等)

カリキュラム等詳細はホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

<https://www.zcssz.or.jp/>

	定員	対象職種例												
		医師	歯科医師	看護師	保健師	栄養士	管理栄養士	薬剤師	臨床検査技師	診療放射線技師	P T ・ O T ・ S T	歯科衛生士	事務職員	その他
	40									○※1				
貢献～病院薬剤師の実際の	60						○							
いて、医療に役立つ栄養管	40		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ついで理解を深め、知識を	80							○						
用推進のために必要な知識 率的な業務実施体制整備に	30		○※2											
画と評価	20	○		○	○							○		
トプット（情報発信）が様 ながっている。保健活動の 価）し、改善点や次の課題 いうフォーマルなスタイル の事業を企画・検討する関 ことができる。 体的な企画立案のほか、活 果を検証する手法、さら るまでの一連の過程につい	30	○	○	○	○									○※3
基礎知識と看護実践力の	30		○※4											
	20	○		○	○									
患、口腔症状から診断され	48	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○※5
の中長期的メンタルヘルス	20		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○※5
呼吸器障害、摂食嚥下障害 のポイントを学ぶ	40	○	○	○						○				○※5
チングとコーチング	40		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ルが一丸となって連携を強	30		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○※6

※3 大学院生等 ※4 看護師特定行為研修の修了看護師 ※5 介護福祉士・社会福祉士等 ※6 臨床工学技士

# 第 42 回 診療放射線技師研修会

基礎をしっかり理解しよう

研修期間

6月6日(木)9時～6月8日(土)12時15分

テーマ

放射線検査技術と読影の補助

ねらい

医療の中での放射線技師の重要性を自覚し、これからの仕事に対応できる基本的知識の習得を目的とする。

対象者

放射線技師学校卒業後10年程度までの診療放射線技師

定員

40名

受講料

25,000円(税込)

申込期間

4月1日(月)～5月6日(月)  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

## 【特記事項】

日本診療放射線技師会 生涯教育カウント・日本救急撮影技師認定制度の集合研修として申請の予定です。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
6/6	脊椎脊髄MRI 検査の要点	自治医科大学医学部放射線医学 教授 森 隼
	中枢神経・頭頸部放射線検査の要点	自治医科大学医学部放射線医学 講師 藤井 裕之
	アンガーマネジメント ～怒りと上手に付き合う自分になろう～	ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社 取締役 山本 果奈
	小児放射線検査の要点	自治医科大学附属病院とちぎ子ども医療センター 小児画像診断部 講師 古川 理恵子
	I VRの被曝から手技まで	那須赤十字病院放射線科 (血管撮影・I VR専門診療放射線技師認定技師) 診療放射線技師 増淵 裕介
6/7	胸部放射線検査の要点	自治医科大学医学部放射線医学 講師 篠崎 健史
	腹部放射線検査の要点	福島県立医科大学会津医療センター臨床医学部門 教授 歌野 健一
	放射線機器の製造について キヤノン那須工場見学	キヤノンメディカルシステムズ 那須工場
6/8	放射線業務における医療安全	上尾中央総合病院 特任副院長 長谷川 剛
	AI を用いた読影支援について	富士フィルムメディカル 北関東地区営業本部 IT ソリューションセンター チーフ 佐々木 貴浩



# 第 42 回 薬剤師研修会

薬剤師力の発揮!!

研修期間

6月13日(木) 8時30分～6月14日(金) 17時15分

テーマ

病院薬剤師のチーム医療への貢献～病院薬剤師の実際の活動や関わり～

ねらい

病院薬剤師は、医療従事者の一員としてチーム医療に貢献していく中で、様々な医療の現場で活躍をしている。本研修では、様々な医療の現場における病院薬剤師の活動や関わりを通じて、チーム医療に貢献していく上での必要な基礎的な知識の習得を図るとともに、病院薬剤師としての資質の向上を図る。

対象者

病院勤務薬剤師

定員

60名

受講料

18,000円(税込)

申込期間

4月1日(月)～5月13日(月)  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

## 【特記事項】

本研修会は、(公財)日本薬剤師研修センター「研修認定薬剤師制度」の集合研修として申請の予定です。ただし、オンライン形式に変更の場合は同制度の対象外となります

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
6/13	診療支援業務における病歴・身体検査所見をどうみるか コツとピットホール	自治医科大学薬理学講座臨床薬理学部門・附属病院薬剤部 教授・薬剤部長 今井 靖
	病院薬剤師業務について (自治医科大学附属病院では)	自治医科大学附属病院薬剤部 副薬剤部長 中澤 寛仁
	栄養管理とNST活動	自治医科大学附属病院薬剤部 薬剤師 遠藤 径世
	感染管理における薬剤師の役割 (抗菌薬の使い方～ASTの実際～)	自治医科大学附属病院薬剤部・感染制御部 主任薬剤師 大友 慎也
	外来がん化学療法における薬剤師外来の実際	自治医科大学附属病院薬剤部 主任薬剤師 奥田 泰考
	緩和ケアにおける薬剤師の関わり	自治医科大学附属病院薬剤部 主任薬剤師 稲見 薫
	周術期における薬剤師の関わり	自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 薬剤師 小林 睦之
	災害医療における薬剤師の関わり	自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 主任薬剤師 立石 直人
	糖尿病における薬剤師の関わり	自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 副薬剤部長 大塚 潔
6/14	医療安全における薬剤師の役割	自治医科大学附属病院薬剤部 副薬剤部長 片野 昌宏
	腎臓病薬物療法認定薬剤師の実際	自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 主任薬剤師 木村 正彦
	医薬品情報における薬剤師の役割 (DI, システム, フォーミュラリー等)	自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 主任薬剤師 村岡 篤
	臨床研究における薬剤師の役割 (CRC の実際)	自治医科大学附属病臨床研究センター 臨床研究・治験推進部 副部長 服部 由
	グループディスカッション	自治医科大学附属病院薬剤部 副薬剤部長 中澤 寛仁 副薬剤部長 釜井 聡子 副薬剤部長 吉岡 崇幸 副薬剤部長 片野 昌宏 主任薬剤師 荒川 昌史 主任薬剤師 若林 宏海 主任薬剤師 稲見 薫 自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 主任薬剤師 村岡 篤 主任薬剤師 木村 正彦

# 第9回 栄養管理研修会

## 高齢化社会の医療に貢献する栄養管理を目指して

### 研修期間

6月21日（金）8時45分～6月22日（土）16時15分

### テーマ

最新のガイドラインを読み解いて、医療に役立つ栄養管理を学ぶ

### ねらい

高齢化社会において、生活習慣に起因する疾患の発症率は増加し、それらの疾患とどのように付き合いながら生活していくかが大きな課題となっている。健康寿命延伸のため、栄養管理に携わる私たちは、日々新しくなるエビデンスを理解し、正しい介入をしていくことが重要である。近年更新されたガイドラインに沿って、それらをどのように医療の現場に生かしていくか、最新の栄養管理について学ぶ場とする。

### 対象者

栄養サポートチームに携わっている管理栄養士、看護師、薬剤師等のメディカルスタッフ  
(NSTに携わっていない管理栄養士は、栄養管理の経験が3年以上とする)

### 定員

40名

### 受講料

18,000円（税込）

### 申込期間

4月1日（月）～5月21日（火）  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

### その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

#### 【特記事項】

病態栄養認定管理栄養士更新及び日本糖尿病療養指導士栄養士1群資格更新のための単位を申請の予定です

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
6/21	糖尿病患者の症例検討	自治医科大学医学部内科学内分泌代謝学部門 准教授 倉科 智行 自治医科大学附属病院看護部 糖尿病看護認定看護師 新井 茉美 自治医科大学附属病院臨床栄養部 糖尿病病態栄養専門管理栄養士 千葉 円香
	脳卒中急性期の栄養管理 ～脳卒中治療ガイドライン 2021を基に～	自治医科大学医学部内科学講座神経内科学部門 教授 田中 亮太
	脳卒中患者さんのリハビリテーションと栄養	自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 認定理学療法士 木村 和貴
	「腎疾患＝たんぱく制限ではない時代が来ている」	東京医科大学腎臓内科学分野 教授 菅野 義彦
6/22	NST患者の症例検討	自治医科大学医学部内科学消化器内科学部門 准教授 坂本 博次 自治医科大学附属病院看護部 NST 専門療法士 宮沢 玲子 自治医科大学附属病院薬剤部 NST 専門療法士 遠藤 径世 自治医科大学附属病院臨床栄養部 NST 専門療法士 堀内 由布子
	動脈硬化予防のための食事療法を理解する ～動脈硬化性疾患予防のためのガイドライン 2022 年版診療ガイド 2023 年版より～	神戸学院大学栄養学部臨床栄養学部門/臨床検査学部門 教授 藤岡 由夫
	“The Japan Diet” を動脈硬化予防に活かす には	日本女子大学家政学部食物学科 講師 亀山 詞子

# 第 49 回 臨床検査技師研修会

## 臨床に関わる輸血療法について学ぼう

### 研修期間

6月27日(木) 8時30分～6月28日(金) 14時45分

### テーマ

各診療科に関わる輸血療法について理解を深め、知識を習得する。

### ねらい

近年、チーム医療が浸透され、臨床検査技師も検査だけではなく、広く臨床を知ることが求められている。  
今回の研修では、臨床の現場で輸血が必要とされる状況や疾患、移植医療や最新の免疫細胞療法などの知識を習得する。

### 対象者

臨床検査技師

### 定員

80名

### 受講料

18,000円(税込)

### 申込期間

4月1日(月)～5月27日(月)  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

### その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
6/27	R-CPC～血球減少に関わる症例～	自治医科大学医学部臨床検査医学 助教 山本 さやか
	血液疾患と輸血療法～血液製剤の適正使用～	自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部 教授 藤原 慎一郎
	臓器移植（生体肝移植）と輸血療法 ～脱感作療法を含めて～	自治医科大学附属病院 とちぎ子ども医療センター小児移植外科 准教授 眞田 幸弘
	周術期における輸血療法 ～心臓血管外科手術の術中輸血管理について～	自治医科大学附属病院 麻酔科学・集中治療学 講師 関 厚一郎
	直接抗グロブリン試験陽性患者の輸血検査 ～検査対応と輸血について～	自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部 前技師長 岸野 光司
6/28	血液浄化療法 ～アルブミンを用いた血漿交換を含めて～	自治医科大学附属病院 臨床工学部 主任臨床工学技士 松岡 諒
	造血幹細胞移植について ～移植に関わる輸血療法～	自治医科大学医学部 血液学 講師 山本 千裕
	産科診療と輸血 ～妊娠中の出血性疾患の対応～	自治医科大学医学部 産科婦人科学 准教授 薄井 里英
	救命救急センターにおける緊急輸血 ～大量輸血プロトコール (Massive Transfusion Protocol; MTP) ～	自治医科大学附属病院 救命救急センター 助教 新庄 貴文

## 第2回 看護補助者の活用推進のための 看護管理者研修会

### 研修期間

7月8日（月）9時～17時15分

### テーマ

看護管理者が看護補助者の活用推進のために必要な知識や考え方を理解し、安全で効率的な業務実施体制整備に活用することができる。

### ねらい

- 1) 看護補助者との協働において看護職と看護補助者の役割と責任が理解できる。
- 2) 効果的・効率的な看護を提供するための業務実施体制の整備の方策が理解できる。
- 3) 看護補助者の確保の方策と労働環境整備の方策が理解できる。
- 4) 看護職及び看護補助者の教育体制の整備の方策が理解できる。

### 対象者

医療機関の看護管理者（看護部長・看護師長等）

### 定員

30名

### 受講料

11,000円（税込）

### 申込期間

4月1日（月）～6月8日（土）  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

### その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

#### 【特記事項】

本研修会は、公益社団法人 栃木県看護協会との共催で行う「看護補助体制充実加算」に対応する研修会です。修了者には、公益財団法人 地域社会振興財団発行の修了書と併せて公益社団法人 栃木県看護協会の修了書を発行予定です。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	項目	講義テーマ	講師
7/8	講義と演習	講義 (DVD) 1 看護補助者の活用推進の背景 2 看護補助者の位置づけ 3 看護補助者との協働に関する基本的な考え方 4 業務実施体制の整備 (小ワーク) 5 看護職への教育体制の整備 6 看護補助者の労働環境の整備及び確保等 (小ワーク) 7 看護補助者の育成・研修・評価 (小ワーク)	公益社団法人 栃木県看護協会教育研修課 専任教員・看護職 大竹信子 他1名
	演習	8 看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成 (グループワークと全体共有)	



# 第22回 健康企画・評価研修会

## 住民の心身トータルの健康を目指した事業の企画法

### 研修期間

8月1日（木）9時～8月2日（金）17時15分

### テーマ

住民が元気になる健康事業企画と評価

### ねらい

健康生活には病気の軽減（治療と予防）と元気の増進（well-being生活）が求められます。住民が参加したくなる健康事業の企画法と評価法の基本を今回つかみ、健康寿命を延ばす事業の組み立て方の具体的方法を習得していただきます。

### 対象者

保健師、栄養士、医師、健康関連事務担当者

### 定員

20名

### 受講料

18,000円（税込）

### 申込期間

4月1日（月）～7月1日（月）  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

### その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
8/1	健康事業企画の基本的考え方 ～目指すは元気と病気の調和した健康づくり～	日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一
	参加したくなる病気予防と元気づくりの 合体した健康教室の企画方 ～参加型、楽しい、元気になる、 そして結果に繋がる教室運営法～	
	well-being 生活に向けた健康評価法 ～アップしよう！自分の評価力～	独立行政法人国立病院機構栃木医療センター 医師 村上 恵理
8/2	具体的事例検討会① 事業計画→実施→評価のすべて ～ひとづくり、つながりをベースに 健康づくり～	新潟労働衛生コンサルタント事務所 保健師 鈴木 美和
	具体的事例検討会② 生きがいと健康の調和 ～人生を楽しむための生きがいの探し方・ 見つけ方～	上野医院 医師 上野 学
	具体的事例検討会③ 今の時代にあった企画 ～心惹かれるコンテンツを考える～	社会医療法人 中山会宇都宮記念病院 総合健診センター 中山会看護副部長／健診センター統括 千葉 暢子
	具体的事例検討会④ 元気づくり企画 ～住民、スタッフのやる気を育てる～	保健師 宮崎 由紀子

# 第43回 保健活動研修会

保健活動に活かす疫学・統計セミナー（調査研究の立案・学会発表・論文執筆まで）

## 研修期間

8月9日（金）13時45分～8月11日（日）14時30分

## テーマ

近年、保健活動に関するアウトプット（情報発信）が様々な形で住民の健康増進につながっている。保健活動の介入効果を科学的に検証（評価）し、改善点や次の課題などについて「研究発表」というフォーマルなスタイルで公表できれば、全国で同様の事業を企画・検討する関係団体に基礎資料を提供することができる。

本研修会では、保健活動の具体的な企画立案のほか、活動内容の定量的評価および効果を検証する手法、さらには学会発表・論文執筆にいたるまでの一連の過程について学習する。

## ねらい

日々の保健活動を発展させていくためには、現状を常に評価し、新たな目標設定と計画の策定が必要である。そのためには、活動現場で調査・研究を実施する手腕を身につけ、最終段階として学会発表や論文執筆により世の中からの評価を受けるべきであろう。

本研修会では、まず研究の基礎となる疫学・統計学の基礎を学び、その上で、グループワークを通じて具体的な研究計画の立案にチャレンジする。さらに、実際のデータを用いて、データの処理・集計に必要なパソコンの技術を習得する。最終日には、学会発表や論文執筆、雑誌の編集委員会との対応などについても学習する。

## 対象者

- (1) 地域保健・職域保健・学校保健の現場で保健活動を実践する保健師・看護師・栄養士・医師など
- (2) 今後、保健活動において調査研究を行う予定がある者

## 定員

30名

## 受講料

25,000円（税込）

## 申込期間

4月1日（月）～7月9日（火）

※ただし、期限前でも定員に達した場合は締め切ります。

## その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

**【特記事項】** 例年、日本公衆衛生学会へ認定専門家研修会の認定を受けていますが、今年度も諸事情のため認定を受けられません。ご迷惑をおかけしますが、ご了承のうえ、申し込まれますようお願い申し上げます。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
8/9	調査研究および疫学の基礎 ～調査研究の基本知識と疫学の基礎を概観する～	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介
	調査・研究の実際（１） ～社会調査の実際を中心に～	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 准教授 青山 泰子
	統計学の基礎 ～保健活動のためのデータのまとめ方（基礎）～	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 助教 小佐見 光樹
	振り返り・情報交換会	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介 准教授 (予定) 准教授 青山 泰子 講師 松原 優里 助教 小佐見 光樹
8/10	調査・研究の実際（２） ～バイアスや交絡の制御を含む疫学の知識を学ぶ～	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 講師 松原 優里
	情報収集・文献検索の実際（演習） ～コンピュータを用いた演習～	宮城大学 看護学群 准教授 江角 伸吾
	グループワーク ～与えられた課題について各グループで 具体的な研究計画にチャレンジする～	浜松医科大学健康社会医学講座 教授 尾島 俊之 自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介 准教授 (予定)
	グループワーク報告会 ～各グループワーク発表～	准教授 青山 泰子 講師 松原 優里 助教 小佐見 光樹
8/11	研究と倫理 ～最近の話題を交えて研究と倫理について概観する～	山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座 教授 山縣 然太朗
	エクセルによる統計解析の実際（演習） ～コンピュータを用いた演習～	パソコンじゅく自治医大駅前教室 チューター 原 久子 自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介 准教授 (予定) 准教授 青山 泰子 講師 松原 優里 助教 小佐見 光樹
	学会発表と論文作成 ～学会発表・論文執筆の基礎を学ぶ～	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 准教授 (予定)

## 第2回 看護師特定行為研修修了者 スキルアップ研修会

特定行為の実践に必要な臨床推論を復習し、看護実践力を高めよう!

### 研修期間

8月30日(金) 8時30分～19時

### テーマ

最善な特定行為の看護実践のための基礎知識と看護実践の向上

### ねらい

2015年度から開始した看護師の特定行為に係る研修制度の研修修了看護師は6,875人(2023年3月)、研修を展開している指定研修機関は、360施設(2023年8月)となった。各指定研修機関では「チーム医療」、「医療安全」、「高度な臨床実践能力」、「自己研鑽」などの研修制度の理念を踏まえ、それぞれに目的・目標を設定し研修を行っているが、研修修了時の到達度が統一されていないという指摘がある。さらには、研修修了後の知識や看護技術を更新していく機会には個人差があり、修了後のフォローアップやスキルアップにおける課題が多く報告されている。そこで、最善な特定行為実践のために必要な基礎知識として臨床推論や症候学を復習し、「good practice」を共有することで看護実践力の向上を目指す機会としたい。

### 対象者

看護師特定行為研修の修了看護師

### 定員

30名

### 受講料

11,000円(税込)

### 申込期間

4月1日(月)～7月30日(火)  
※ただし、期限前でも定員に達した場合は締め切ります。

### その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

#### 【特記事項】

下記①②の内容について、メール添付にて、[chuokenshu@zcssz.or.jp](mailto:chuokenshu@zcssz.or.jp)までご提出をお願いします。様式は自由です。

- ① 修了した研修区分名やパッケージ名
- ② 輸液調整の実践でうまくいった又は難しかった事例のいずれか1症例の症例紹介と実践内容

\*症例、実践内容の提示では、振り返りに必要な情報を工夫して記載ください。  
なお、実践例がない場合には、研修後の現状と今後どのような活動をしたいと考えているかを記載してください。

課題提出締切：7月30日(火)

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
8/30	糖尿病患者の輸液調整	自治医科大学看護学部看護基礎科学 准教授 倉科 智行
	臨床推論の復習	自治医科大学情報センター 教授 石川 鎮清
	輸液栄養療法の適正使用に関する情報	株式会社大塚製薬工場信頼保証本部輸液情報センター 製品情報室 係長 名護 由華 中野 将春
	輸液調整に関する症例検討についての オリエンテーション	自治医科大学看護学部 看護師特定行為研修センター 教授 村上 礼子
	輸液調整に関する症例検討	自治医科大学情報センター 教授 石川 鎮清  自治医科大学看護学部 看護師特定行為研修センター 教授 村上 礼子 准教授 八木 街子 講師 佐々木 彩加
	特定行為研修制度の動向	自治医科大学看護学部 看護師特定行為研修センター 教授 村上 礼子

# 第42回 健康学習研修会

## 行動変容、意識変容の基本となるコミュニケーション技法の習得

### 研修期間

9月5日(木)9時～9月6日(金)17時15分

### テーマ

健康教育から健康学習へ

### ねらい

保健医療従事者がコミュニケーション力をつけることが、住民の継続的行動変容につながります。「伝える」コミュニケーション法から「伝わる」コミュニケーション法に変えると住民は主体的に学びたくなる。そのコミュニケーションの基本をしっかり身につけられる研修会です。

### 対象者

保健師、栄養士、医師

### 定員

20名

### 受講料

18,000円(税込)

### 申込期間

4月1日(月)～8月5日(月)  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

### その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
9/5	住民が元気になるコミュニケーション技法 ～伝え上手、尋ね上手、返し上手～	日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一
	集団がやる気になるために ～ムードづくり及びシナリオ作成法～	
	新しい時代の健康の着眼点とは ～過去・現在・そして未来～	新町クリニック健康管理センター 医師 神應 知道
9/6	明日から使える健康学習 ～住民の健康づくりに大切なこと・必要なこと～	(元)新潟県燕市役所 保健師 石田 奈津子
	令和に必要とされる健康セミナー ～常に対象者から学ぶ～	株式会社健康支援BonAppetit 管理栄養士 植村 瑠美
	総合的視点から見た心身の健康指導 住民の力を伸ばす～魔法の言葉かけ～	ヘルスシード 医師 杉山 葉子
	さやかで学ぶ住民の視点に立った保健指導 ～継続的行動変容につながるコミュニケーション～	川崎市立多摩病院 救急災害医療センター (指定管理者 聖マリアンナ医科大学) 医師 野村 悠



# 第 20 回 口腔ケア研修会

口腔と密接に関係する全身疾患、口腔症状から診断される全身疾患について

## 研修期間

10月4日（金）8時30分～10月5日（土）16時45分

## テーマ

口腔ケアと医科歯科連携

## ねらい

日頃から行っている「口腔ケア」を基礎的な内容から確認することで、もっと効率よく的確に行うことを目標にします。これによって、感染症予防や口腔リハビリテーションの実施、口腔機能向上による全身のQOL向上へつなげる実践的な口腔ケアを学びます。また、口腔の解剖や機能を理解することで、異常な口腔内症状を素早く見つけ全身疾患との関りを理解します。

## 対象者

全ての医療従事者  
（看護師、薬剤師、検査技師、言語聴覚士、栄養士、介護士、歯科衛生士、歯科医師、医師など）

## 定員

48名

## 受講料

18,000円（税込）

## 申込期間

4月1日（月）～9月4日（水）  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

## その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

	講義テーマ	講師
10/4	口腔について ～口腔の解剖と機能、疾患～	自治医科大学附属さいたま医療センター 教授 森 良之
	口腔ケアについて ～口腔ケアの目的～	自治医科大学歯科口腔外科学講座 病院助教 林 宏栄
	口腔ケア用品について ～清掃用具や保湿剤・含嗽剤などの紹介～	自治医科大学歯科口腔外科学講座 病院助教 林 宏栄
	口腔ケアの基本 ～評価方法と清掃方法～	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 主任歯科衛生士 鈴木 祐子
	周術期口腔ケア ～様々な疾患に対する立案と実際～	自治医科大学歯科口腔外科学講座 臨床助教 山本 亜紀
	インプラントについて ～基本的なインプラントの構造と管理～	自治医科大学歯科口腔外科学講座 病院助教 作山 葵
	誤嚥性肺炎と口腔内環境 ～病態と予防、最新の知見も踏まえて～	自治医科大学内科学講座呼吸器内科学部門 病院助教 佐藤 春菜
	血液科診療と口腔 ～口腔浸潤で見つかる造血器腫瘍と化学療法・造血幹細胞移植時の口腔ケアの重要性について～	自治医科大学内科学講座血液学部門 臨床助教 戸田 由美子
	全身疾患と口腔 ～口腔と全身のかかわり～	自治医科大学歯科口腔外科学講座 教授 野口 忠秀
	心疾患と歯周病 ～病態・原因・予防～	自治医科大学外科学講座心臓血管外科学部門 教授 川人 宏次
10/5	口腔がんについて～口腔がんとケア～	自治医科大学歯科口腔外科学講座 助教 杉浦 康史
	糖尿病と歯周病 ～病因・病態・合併症予防～	自治医科大学内科学講座内分泌代謝学部門 准教授 岡崎 啓明
	口腔粘膜病変を契機に診断する皮膚疾患、 皮膚病変を契機に診断する口腔粘膜疾患 ～歯科口腔外科と皮膚科の連携が必要な疾患～	自治医科大学皮膚科学講座 助教 中野 尚美
	摂食嚥下について～摂食嚥下の異常～	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 臨床助教 月村 久恵
	口腔リハビリテーション ～口腔機能と摂食嚥下の リハビリテーション～	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 歯科衛生士 若林 宣江
	摂食嚥下リハビリテーション ～言語聴覚士による摂食嚥下リハビリテーショ ンの介入～	自治医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 言語聴覚士 五十畑 舞
	口腔ケアの実際1 ～口腔がん術後 CRT 中の介入～	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 歯科衛生士 秋元 麻美
	口腔ケアの実際2 ～摂食嚥下障害での介入～	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 歯科衛生士 山岡 真琴
	脳卒中と歯周病 ～病態、治療法についての最近の知見、 歯科診療との関わり～	自治医科大学内科学講座神経内科学部門 講師 益子 貴史

# 第4回 災害保健研修会

## 災害時に保健医療従事者に求められる被災者への対応と 中長期的な被災者への対応

### 研修期間

10月19日(土)10時～10月20日(日)16時30分

### テーマ

地域保健活動における災害への中長期的メンタルヘルスの対応力を高めよう！

### ねらい

自然災害・人為災害・パンデミック等、一度に多数の人々が危機的状況に直面する事象が近年頻発している。災害被災者の支援として、災害発生時にメンタルヘルス不調を感じている人々、および災害後、中長期的にメンタルヘルス不調を生じる人々への支援がある。災害中長期には、うつ、アルコール依存、自殺への対策は、生活支援全般の一部として、平時のメンタルヘルス対策と共通した課題として表面化してくることも少なくない。メンタルヘルス不調を抱える人は自から希求行動をとらないため、多方面からの多種多様な情報を判断して対応することが求められる。講義と演習を通して、発災後、中長期的に保健従事者に求められる被災者へのメンタルヘルスの対応方法及び平常時から行うべき活動を理解する。

### 対象者

看護師、保健師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、社会福祉士、精神保健福祉士、事務職員等

### 定員

20名

### 受講料

18,000円(税込)

### 申込期間

4月1日(月)～9月19日(木)  
※ただし、期限前でも定員に達した場合は締め切ります。

### その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

#### 【特記事項】

テキストとして、特定非営利活動法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会「10年間の記録～なごみのあしあと～」(1,100円)を使用しますので購入していただきます。

原則として受講生全員分をこちらで一括購入いたします。研修会初日受付時に1,100円をお支払ください。(おつりの無いようご用意ください)

すでにお持ちの方は申込時にその旨お知らせください。

また、事前課題があります。詳細については受講決定通知に記載いたします。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
10/19	災害時の保健活動	自治医科大学看護学部 教授 永井 優子
	WHO版 心理的応急措置 (サイコロジカル・ファーストエイド：PFA) 被災者へのケアⅠ	国立精神・神経医療研究センター 研究員 大沼 麻実 ほか
	WHO版 心理的応急処置 (サイコロジカル・ファーストエイド：PFA) 被災者へのケアⅡと支援者へのケア	国立精神・神経医療研究センター 研究員 大沼 麻実 ほか
10/20	災害被災者への中長期的な対応 ～メンタルヘルスの立場から～(事例)	自治医科大学看護学部 教授 永井 優子 助教(精神看護専門看護師) 地神 由加里
	被災者支援の実際～中長期的活動を中心に	「NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉 システムをつくる会 相馬広域こころの ケアセンターなごみ」 センター長(精神科看護認定看護師) 米倉 一磨
	メンタルヘルス上の課題をもつ人への 支援演習	自治医科大学看護学部 教授 永井 優子 教授 半澤 節子 講師 路川 達阿起 助教 地神 由加里 「NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉 システムをつくる会 相馬広域こころのケアセンターなごみ」 センター長(精神科看護認定看護師) 米倉 一磨
	支援者のメンタルヘルス支援	自治医科大学看護学部 教授 永井 優子
	研修の振り返り	自治医科大学看護学部 教授 永井 優子 教授 半澤 節子

# 第24回 リハビリテーション研修会

## 医療従事者に必要な急性期リハビリテーションの知識と技術

### 研修期間

10月24日(木) 8時30分～ 10月25日(金) 17時05分

### テーマ

脳卒中、外傷、循環器障害、呼吸器障害、摂食嚥下障害の急性期リハビリテーションのポイントを学ぶ

### ねらい

早期リハビリテーションの意義を踏まえて、医師はどのような視点で診療を行い、早期離床に向けて患者の状態をどのように評価するのか、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の役割、介入のポイント、リスク管理や多職種連携について学習する。さらに、急性期病院における栄養管理、集中治療室でのリハの実際について学ぶこと。

### 対象者

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等

### 定員

40名

### 受講料

18,000円(税込)

### 申込期間

4月1日(月)～ 9月24日(火)  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

### その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
10/24	集中治療室におけるリハの実際	自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 主任 認定理学療法士 関根 利江
	外傷患者の急性期医療管理	自治医科大学附属病院 救命救急・総合集中治療センター 准教授 松村 福広
	急性期作業療法介入のポイント	自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 作業療法士 牡鹿 実
	心疾患の急性期理学療法介入のポイント	自治医科大学附属さいたま医療センター リハビリテーション部 室長 認定理学療法士 関根 一樹
	外傷患者の急性期理学療法介入のポイント	(独)労働者健康安全機構山口労災病院 中央リハビリテーション部 主任理学療法士 砥上 恵幸
10/25	呼吸器疾患の急性期理学療法介入のポイント	福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 教授 高橋 仁美
	急性期栄養管理のポイント	自治医科大学附属病院臨床栄養部 栄養管理室長補佐 管理栄養士 堀内 由布子
	急性期摂食嚥下療法介入のポイント	自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 言語聴覚士 富樫 結香
	脳卒中の急性期治療	自治医科大学附属病院脳卒中センター 教授 田中 亮太
	脳血管障害の急性期理学療法介入のポイント	自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 臨床理学療法士 濱田 桂佑

# 第 47 回 スタッフ育成・管理担当者研修会

スタッフ育成のためのティーチングとコーチングの実際を学ぼう

## 研修期間

11月1日(金) 9時～ 11月2日(土) 16時45分

## テーマ

スタッフ育成のためのティーチングとコーチング

## ねらい

1. ティーチングとコーチングの実際を学び、やる気のある自立したスタッフの育成に向けて、効果的な関わりができる知識と能力を身につける。
2. 安全で質の高いサービスを実現するために、自立したスタッフによる多職種協働のチームワークを理解し、支援する知識と能力を身につける。

## 対象者

看護・介護をはじめとする保健医療・福祉分野の職場において、スタッフ育成を担う管理者及び担当者

## 定員

40名

## 受講料

18,000円(税込)

## 申込期間

4月1日(月)～ 10月1日(火)  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

## その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

### 【特記事項】

本研修会は、諏訪茂樹著『看護にいかすリーダーシップ 第3版』(医学書院)を使用しながら講義を進めますので、ご用意をお願いします。  
なお、研修会当日の受付時にも購入可能です。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
11/1	スタッフを育てるリーダーシップ ～キャリアパスに即したティーチングと コーチングの使い分け～	東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹
	チームワークとリーダーシップ ～安全で質の高いサービスを実現するチームワーク ～	
	ビギナーへのティーチング ～スタッフのパフォーマンスにつながる効果的な指 示と助言の方法～	
11/2	ベテランへのコーチング ～スタッフのやる気と質の高い医療・福祉サービ スを支持する方法～	
	多職種協働によるチームワーク ～それぞれの専門性を活かして互いに補い合う多職 種協働の方法～	



## 第2回 チーム医療充実を目指した メディカルプロフェッショナル研修会

メディカルプロフェッショナルが一丸となって連携を強め地域医療を充実させよう

### 研修期間

11月8日(金) 8時30分～17時30分

### テーマ

今、臨床現場での課題 チームで取り組むために

### ねらい

医療現場において看護師、薬剤師、放射線技師、臨床工学技士、理学療法士 など 各職種における研修会・勉強会は多く開催されているものと思います。今回の研修会では各職種を横断し、特に診療現場でのトピックスを共有し、今後の診療に one team で挑むための機会になれば幸いです

### 対象者

メディカルプロフェッショナルを主な対象とする  
看護師、薬剤師、臨床工学技士、放射線技師、栄養士、理学療法士 ほか

### 定員

30名

### 受講料

11,000円(税込)

### 申込期間

4月1日(月)～10月8日(火)  
※ただし、期間内でも定員に達した場合は締め切ります。

### その他

申込方法やお支払方法については、巻末の頁または当財団ホームページをご覧ください。

## 日 程 表

※カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。  
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
11/8	循環器 冠動脈疾患に対する最新の治療	自治医科大学医学部循環器内科学部門 准教授 船山 大
	循環器 不整脈に対するカテーテルアブレーションの現状と将来像	自治医科大学医学部循環器内科学部門 教授 今井 靖
	循環器 心臓エコー・血管エコー	未定
	心不全と循環器集中治療	未定
	外来治療センターにおけるがん薬物療法(固形癌)	自治医科大学附属病院臨床腫瘍科 准教授 大澤 英之
	消化器癌治療の実際	自治医科大学附属病院消化器一般外科 未定
	放射線治療の実際	自治医科大学附属病院放射線治療部
	フリーディスカッション・意見交換	自治医科大学医学部循環器内科学部門 教授 今井 靖

# 申込要領等

## お申込みから修了までの流れ

### 1 お申込み

公益財団法人 地域社会振興財団ホームページ (<https://www.zcssz.or.jp/>) のトップページ上段【研修会等のご案内】⇒【中央研修会】⇒【中央研修会概要】を開き、表示される研修会一覧の中から、ご希望の研修会の申込フォームにご入力の上送信してください。



### 2 お申込みの受付通知

ご登録メールアドレスに【受付完了メール】を自動配信しますので、[chuokenshu@zcssz.or.jp](mailto:chuokenshu@zcssz.or.jp)を受信できるようメールの振り分け設定を事前にお願います。受付完了メールが届かない場合は、35ページのお問合わせ先へご連絡ください。



### 3 受講の決定・ご入金

研修会開催1ヶ月前に【受講決定のご案内】を送信します。申込期限前であっても定員に達した場合はお申込みを締め切りますので、その際は当財団ホームページでお知らせします。受講料はメールに記載した指定口座にご入金ください。※振込手数料はご本人様にてご負担ください。



### 4 再通知

研修会開催10日前（土日祝日を除く）にリマインドメールを送信します。



### 5 受講

研修会場へお越しいただき受講してください。



### 6 修了

受講終了後に修了証書（受講証明書）をお渡しします。

## 受講料・領収書

### 1 受講料

半日・1日コース 11,000円(税込) 2日間コース 18,000円(税込)  
3日間コース 25,000円(税込)

### 2 領収書

研修会受付時にお渡しします。

## キャンセルについて

キャンセルされる場合は、次頁のお問合わせ先へご連絡ください。

なお、研修会開催3日前（土日祝日を除く）を過ぎてからのキャンセルにつきましては、受講料の返金はできませんのでご了承ください。それ以前のキャンセルの場合は、振込手数料を引いた金額を返金いたします。

## 研修会場・交通アクセス

地域医療情報研修センター（自治医科大学構内施設）  
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-160

お越しになる際の交通手段は、なるべく公共の交通機関をご利用ください。

会場への最寄り駅は、JR 宇都宮線（東北本線）の「自治医大駅」です。東口から徒歩約10分です。詳しくは「会場への交通のご案内」（裏表紙）をご参照ください。

## 宿 泊

宿泊は、各自ご手配願います。

周辺の宿泊施設としては、宇都宮市内及び小山市内に多数あります。

なお、次頁の2施設は、優待料金でご利用できます。

施設名	ホテルニューイタヤ	ホテルエクセルイン小山
アクセス	J R宇都宮駅西口から徒歩約5分	J R小山駅東口から徒歩約2分
室タイプ	シングル	シングル
優待料金	7,000円(税込) 朝食付き(バイキング)	7,200円(税込) 朝食付き(バイキング)
電話 FAX	電話 028-635-5511 FAX 028-633-3772	電話 0285-30-5555 FAX 0285-30-6700
お支払い	現金・クレジットカード可	現金・クレジットカード可
ホームページ	<a href="https://newitaya.com/">https://newitaya.com/</a>	<a href="https://excelinn-hotels.com/oyama/">https://excelinn-hotels.com/oyama/</a>
研修会会場までの交通案内	JR 宇都宮駅から上り東京方面3駅目 約20分	JR 小山駅から下り宇都宮方面2駅目 約10分
	<p>(宇都宮線)</p> <p>(東北新幹線)</p> <p>(研修会場の最寄駅)</p> <p>東京駅 上野駅 大宮駅 小山駅 小金井駅 自治医大駅 石橋駅 雀宮駅 宇都宮駅 至黒磯 至仙台</p> <p>自治医大駅から会場まで徒歩約10分</p>	

## 【 宿泊予約方法 】

直接ホテルにお申込みください。

優待料金については「地域社会振興財団の研修会に参加」とお伝えください。

なお、キャンセル・変更等も直接ホテルまでご連絡をお願いします。

## お問い合わせ先

公益財団法人 地域社会振興財団 事務局研修係

☎ 0285-58-7436 受付時間：月曜日～金曜日(祝日を除く) 8時30分～17時15分

E-mail chuokenshu@zcssz.or.jp

## ⚠ 個人情報の取り扱いについて

研修会申込フォームにご記入いただいた個人情報は、研修会関係者に受講者名簿として必要な情報のみを掲載し配付させていただきます。

また、個人識別ができない内容による統計資料を、今後の研修会の参考とするため作成させていただきますことをご了承ください。

# 現地研修会のご案内

当財団の研修事業は、今回ご案内申し上げました中央研修会の他に「現地研修会」と称し、地域住民の方々をはじめ保健・医療・福祉事業等に携わる方々を対象として昭和58年（1983年）から全国各地で開催しております。

この研修会は、「健やかな地域社会づくり」に寄与するため、都道府県市区町村等の保健・医療・福祉関係機関及び当該推薦機関で研修会を企画していただき、開催に係る経費等の助成を行っています。

要件は下記のとおりですが、詳細に関してはホームページをご覧ください。お気軽に当財団事務局研修係までお問い合わせください。

## 応募要件

地域社会における保健・医療・福祉に関連するテーマの研修会が応募対象となります。具体的には、次の内容をテーマとした研修です。

- ★ 「住民のための生活習慣病対策」をテーマにした研修
- ★ 地域住民の方々が教育講演等を通じて、自らの健康への関心を高めるための研修
- ★ 地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々に、それぞれの事業活動を推進するにあたって必要となる技術及び情報の提供を行い、関係機関の連携を深めるための研修
- ★ 地域医療に携わる医師、保健師、看護師及び医療技術者など地域医療従事者の方々に、最新の医学知識や技術の提供ができる研修

## 応募対象機関

都道府県・市区町村の保健・医療・福祉関係機関あるいは  
都道府県・市区町村の保健・医療・福祉関係機関が推薦する機関





## 連絡先

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160  
公益財団法人 地域社会振興財団 事務局研修係

T E L 0285-58-7436

F A X 0285-44-7839

E-mail [chuokenshu@zcssz.or.jp](mailto:chuokenshu@zcssz.or.jp)